

福島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	工業英語 I	
科目基礎情報							
科目番号		0073		科目区分	専門 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科		電気電子システム工学科		対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	1		
教科書/教材		プリント等を配布					
担当教員		植 英規					
到達目標							
①技術英語で用いられる特有の表現を理解し、英語文献の内容を理解することができる。 ②技術文書の書き方を理解し、卒業研究のアブストラクトを英語で書くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
①技術英語で用いられる特有の表現を理解し、英語文献の内容を理解することができる。		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
②技術文書の書き方を理解し、各自の卒業研究のアブストラクトを英語で書くことができる。		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (C) 学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要		英語でかかれた技術文献を正しく理解するために必要な、技術英語でよく用いられる構文や表現方法を学習する。技術文書の書き方を学び、論文のアブストラクトの書き方を学ぶ。					
授業の進め方・方法		中間試験・期末試験ともに50分の試験を実施する。定期試験を80%、課題等を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。 この科目は学修単位科目のため、事前、事後の学習として課題を提出させる。					
注意点		毎回辞書を準備して授業に臨むこと。また、日本語・英語によらず文章を読む・書く習慣をつけること。 参考書： ・技術英語の基本を学ぶ例文300, 中山裕木子, 研究社 ・はじめての技術英語, 宮野晃, ベレ出版 ・The Elements of Technical Writing, Gary Black & Robert W.Bly, Longman					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 技術文書の基礎		技術英語の概要 技術文書の種類		
		2週	技術英語の基礎		技術英語で重要な要素 Correct, Clear, Concise		
		3週	文の組み立て		動作を主語にした文例		
		4週	文の組み立て		無生物を主語にした文例		
		5週	文の組み立て		have, include, use, require 等を用いた文例		
		6週	文の組み立て		時制, 受け身の表現		
		7週	総合演習		これまでの内容の総括		
		8週	論文とアブストラクト		論文の構成 アブストラクトに含める内容		
	4thQ	9週	よく使われる表現		「目的」「提案」の表現		
		10週	よく使われる表現		「可能・能力」「原因・理由」の表現		
		11週	よく使われる表現		「手段・方法」「調べる」の表現		
		12週	よく使われる表現		「結果」「影響」「示す」の表現		
		13週	アブストラクトの作成		アブストラクトの構成と英語での表現		
		14週	アブストラクトの作成		アブストラクトの構成と英語での表現		
		15週	総合演習		これまでの内容の総括		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	後7
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3	後7
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		3	後7
			英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。		3	後15
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	後15		

				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後15
--	--	--	--	--	---	-----

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	10	0	0	0	0	70
専門的能力	20	10	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0